



■ 学年レクリエーション

一つの企画を作り上げていく難しさと楽しさは、先の文化祭で味わった人も多いはずです。そこには、計画力、コミュニケーション力、協働力、問題解決力、判断力、振り返り力…等々、言語化しきれない多数の力が必要とされます。それを一人の人物が持ち合わせることは不可能に近く、いいものを作り上げるために、いいチームで力を合わせた方がいい。

学年レク係の皆さんを中心には、いいチームが発揮されたことをうれしく思います。第2回学年レク(?)今後も力を出し惜しみせず、大活躍してくださいね！

ですが、この段階で、大きな目標を定めることができている集団といえます。高い志は学力との関連が高い。進路探究や大学訪問の機会を「自分ごと」にしてきた行動が結実しています。

(3) 「自学学習時間を確保できない」

32% (25% / 19%)

部活動を優先して…という生徒も微増していますが、それ以外の理由ではありませんか？もう一度スマホ依存への見直しを。

(4) 「宿題が多く、すべてこなせない」

14% (30% / 34%)

定期考查前に提出課題が集中する進め方を見直している80期。宿題が多いとの実感はないはずなのでこの結果。その分、小テストへの取り組みや、予習・復習はどうでしょうか。

(5) 「宿題・予習・復習に取り組めていない」

28% (21% / 22%)

これはどういうことでしょうか？ 提出を課されたものは行うが、提出を課されないものは取り組まないし、取り組めていないという自覚もあるということでしょうか？ 学習時間がいまだに90分未満にとどまっている人は、知識の応用が求められる今の授業についていけなくなっているのでは？

(6) 「学習内容が難しく、自分一人で宿題に取り組めない」 15% (7% / 12%)

「なんでそうなるのか」という疑問を持ちながら授業に参加していますか？ 粘り強く質問をしていますか？ わからないことはその日のうちに、その週のうちに解決しましょう。学習に本気になる姿は頼もしいです。「わからない」

■ 学力を積み上げる「高1秋」の答え合わせ

中学校における学習方法からの脱却。夏休みまでに高校生としての学習習慣を形成し、1年秋の伸びにつなげていく。後期中間考查・11月模試の結果、つまり学力上の「高1秋」の答えが返ってきているところです。見直しをするには最後のチャンスですね。11月の進路希望調査・進路アンケートと共に全体の傾向を一緒に見直しましょう。

(1) 「志望校を目指す明確な理由を言える」

33% (22% / 24%)

※1年前／2年前の1年生11月数値
と定点比較

(2) 「志望校は決まっていない」

28% (41% / 39%)

今後、志望校を変えることももちろんあります

状態は平気なことではありませんよね。取り返しがつかなくなる前に、できるところから行動しましょう。

(7)「余裕があるので、宿題以外に自主学習にも取り組んでいる」9%(2% / 7%)

学年で30名ほど。自ら課題を見つけられているその習慣を、続けていってください。「もっとこんなことがしたい!」という願いがあれば、各教科担当の先生方へ相談しにいくのも大歓迎。教科に関する深い話ができるのは我々もとても楽しいです。

本日、11月模試の個票返却。特に、7月記述模試から今回にかけて、成績下降が激しかった場合、「学習方法の見直し」が急務です。7月模試は、中学校までの学力の「貯金」で何とか保てるけれど、入学後8か月経ち、学力が伸びている層から逆だということは…いまのやり方に改革が必要だと気づけるチャンスですね。

高校生としての学習習慣。いつも言う「学習の量と質」ですが、これは簡単ではないと今ならわかるはずです。簡単ではないから、信じてやり遂げると学力は伸びるのです。

①学習の絶対量の確保には、毎日決まった時間に固定して学習する。

②学習の質の確保には、「わからない」ことを放置せず、粘り強く理解していく。

「1年のうちにもっと勉強しておけばよかった」との後悔を、「受験生になってから」回収するには相当な努力が必要です。

そして8か月を経た今なら、前より実感を伴って受け止められるかもしれない、と年度当初の土曜学習日記録を以下、再掲します。

土曜学習日① 4/19 記録

(1) 全体講話

・そろそろ部活動や体育祭の応援団など、勉強以外の学校の活動に参加する時期。何でも一生懸命に取り組む中で、一つに偏るのではなく、バランスよく調整することを目指そう。言うは易し行うは難し。自学自習のきっかけとして、年度当初の土曜学習日を活用しよう。

・「提出物を出すために、課題に取り組む」勉強ではいつか限界が来る。スタディーサポートの解きなおしをしよう、と呼びかけた。提出を課していない中、自分事として取り組めた生徒と放ったらかしにしている生徒と、あなたはどちらか。高校では今まで行ってきた「勉強方法」では通用しない時期が早くも来る。自分のために取り組む勉強の内容とスケジューリングに気をつけよう。

数学

・算数と数学の違いは、「抽象化」。頭を使わないと答えにたどり着けない高度な学習に対して、暗記学習では限界がくる。理屈を理解しよう。

・授業が軸。数学は復習がメイン。(予習については、復習をして時間があればすればよい)

・チャートは参考書のようにも使えるよ。

・学校資源には人も含まれる。友人や先生にたくさん相談して時間を共有していこう。

英語

・英語を嗜んでいるか?嗜むとは、好んで親しむこと。高校では暗記だけでは限界がある。

勉強はグラデーション。段階の面で言えば、同じ小テストで10点をとった人でも、テスト前日と当日だけ勉強した人と、毎日10分

間勉強していた人とでは、グラデーションの違うところにいる。また、範囲で言えば教科で勉強がはっきりと分かれているわけではない。違う教科の知識を活用できることも多い。

- ・LEAP、NextStage、FACTBOOK 参考書をいかに嗜むかで今後が決まる。

国語

- ・現代文・論理だけでは正しい理解はできない。「ものを知っている」ことが正しい理解につながる。一年生の間は漢字を軸に、知識・語彙力を醸成していこう。
- ・古典は単語テスト・文法の範囲を定め、既習事項と時期を確定しているので、とにかくついてきてほしい。

土曜学習日② 4/26 記録

「大学生に聞く」

1. 振り返ってみて中学と高校の勉強の違い

中学は全て指示通りに動けば大丈夫だったが、高校に入ってからは自分でスケジュール管理をする必要があり、慣れるまで時間がかかった。70分授業に慣れるまで大変だったが、集中できるようになり、時間が速く感じるようになった。高校になると、問題集の難度が上がったのに驚いた。

2. 1年生の時の授業の受け方

受け身でいるだけではしんどいので、自分の中で常に考えることを心がけ、集中力を保つようにしていた。

3. たくさんの課題をどう仕上げていたか

スキマ時間を活用したり、好きな科目から積極的に取り組むようにしたりしていた。

4. 部活動との向き合い方

部活動が休みの日にその週の復習をした。授業中心にして生活していた。授業を大切にすれば3年になって困らない。

5. 1年の文理選択

元から得意・好きな科目を中心に文系、理系を選んだ。ただし、興味のある学部や進路に必要であれば得意・好きに関係なく必要になる。

6. 大学に通ってみて

国立大学なので全国から人が集まっており、人間関係が広がった。一般教養の授業で他学部の人とも交流できるのも魅力的。

7. 80期のみなさんへ

3年になって受験がしんどいと思った時、友人の存在に救われた。今から友人を大切にしてほしい。1年の間は行事や部活動も悔いなく楽しんでほしい。入試にはさまざまな方式があるので、調べることが必要。1年の夏休みにオープンキャンパスに行ってイメージをふくらませることが大切。

■ 当面の予定 手帳にメモしよう！

23日(火) LHR : 人権講演事後学習、成績個票配付

24日(水) 全校集会・午前授業・大掃除

25日(木)～1月7日(水) 冬休み

※休業中、校内で活動する場合は、必ず教員の付添が必要です。27日～3日は学校閉院日。

1月

8日(木) 生野ベーシック(午前中のみ)